

2016年8月26日

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

AIG グループ 新事業戦略コンセプト『ACTIVE CARE』を展開 日本の保険の常識を変えることを目指す

日本における AIG グループ (AIG ジャパン・ホールディングス株式会社、AIU 損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 富士生命保険株式会社など) は、日本の保険の常識を変える新しい提供価値をもたらすべく、グループ統一の事業戦略コンセプトとして『ACTIVE CARE』を展開することを決定しました。

『ACTIVE CARE』とは、AIG が誇る世界中で蓄積した知見や、リスクの認識および軽減につながる最新のテクノロジーを活用し、日常に潜むリスクを的確に把握し、そのリスクに備えるための支援を提供するものです。保険を提供する企業として、起きてしまった出来事への経済的な補償だけでなく、そもそも事故が起こらないようにリスクを最小化する予防的サービスを、目に見える分かりやすい形で積極的に提供し、保険をより身近なものへと変えていくことを目指します。

これまで AIG がお客様や保険代理店を対象に実施した様々な調査から見てきたのは、日本のお客様が保険に対して大きな不満を感じているという事実でした。そこで、万一に備えた補償だけでなく、日々の生活の中での“まさか”を未然に防ぐためのサポートを提供し、お客様にとっての保険の価値を拡大していくことが、これからの選ばれる保険会社になるために必要と考え、『ACTIVE CARE』を展開することにいたしました。

また AIG グループは、このたび AIG ジャパン・ホールディングスが大阪本社を開設したことを機に、『ACTIVE CARE』に基づく活動の一例として、成人の自転車運転時のヘルメット着用の推進をテーマにしたイベントを開催します。大阪府が本年7月より自転車保険の加入を義務化する条例を施行したこと、また本日大阪府と AIG ジャパン・ホールディングスとの間で、地域のリスクマネジメントの強化に共同で取り組むことなどを含む協定を結んだことも背景にあります。

AIG ジャパン・ホールディングス社長兼 CEO のロバート・ノディンは、「大阪は躍動感にあふれた都市であり、私たちの大阪本社も、将来に向けての期待感に満ちています。イノベーションを積極的に後押しし、新しい考え方を歓迎する大阪の地から、AIG が『ACTIVE CARE』というコンセプトを、地域型イベントの開催を通してご紹介できることは、非常にうれしく思います」と述べています。

<ACTIVE CARE について>

(1) お客様の目線に立ったシンプルで分かりやすい透明性のある関係、(2) 万一のときだけでなく、事故や損害を未然に防ぐ支援、(3) 世界中で蓄積された最先端の知見とテクノロジー、そして日本についての洞察力の3つの要素で構成される事業戦略コンセプトです。まさかの時の補償はもちろん、そのまさかが起こらないようにするための「先進的なリスク予防サポート」をも提供し、「保険の分かりやすさ」の追求とあわせて、AIGグループがお客様のパートナーとして選ばれることを目指していきます。